

令和8年 新年あいさつ

防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

工業会 日本万引防止システム協会(JEAS) 会長 稲本義範



※アンダーラインのある個所は出典へのリンクがあります。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、店舗の防犯システムやロス対策や店舗警備などに携わる皆様には、各種万引防止システムや防犯カメラなどの防犯機器をご活用いただき、厚く御礼申し上げます。

お蔭さまで、2002年に設立されたJEASは、2018年に経済産業省よりEASおよび防犯カメラ分野の工業会として認定を受け、2020年には個人情報保護委員会より認定個人情報保護団体としての認定を受けるなど、万引防止システムに携わる多様な企業が参画する産業団体へと成長してまいりました。加えて昨年はHOUSEI(株)と(株)ボックス・ワンとソフトバンク(株)や(株)マクニカという先進な企業が新たな同士になったことは慶びにたえないものでした。

最近の犯罪情勢に目を向けてみると、令和4年には、20年連続で減少を続けてきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じました。令和5年に続き令和6年もさらに悪化し、とくに触法少年を含む青少年の検挙・補導人員は、令和4年比で36%増加しています。小売業の最新の不明ロス調査でも、平均ロス率は2年前の0.48%から0.71%へと上昇しています。

さらには、セルフレジ不正、インターネット等を通じた盗品売買の横行、組織的万引による高額被害事案や、匿名性・流動性の高い犯罪の増加など、犯罪の組織化・国際化・悪質化・サイバー化が一層顕著になってきています。自戒を込めつつ、実効性のある対処が急務であると痛感しております。

こうした状況のなか、昨年は「協働防犯への研鑽」を合言葉に、現場力向上のためのセミナーを積極的に開催してまいりました。

第1の点として、理事会では毎回勉強会を実施とともに、6月の総会では大プレゼン大会「JEAS AWARD 2025」を開催し、大きな成果を得ることができました。7月には第6回推奨顔認証システム検定、8月には経済産業省のご協力をいただき、第3回ファミリーセミナー『現地で学ぶ復興支援～共に生きる～』を福島県で開催しました。9月には第5回科学保安検定講習会をはじめ、毎月各種セミナーを開催しております。全国万引犯罪防止機構によるロス対策士検定についても支援させていただいており、結果として業界全体の底上げと会員間の交流、新たな取引機会の創出につながっています。

第2の点として、10月から始まる下期の戦術課題を「ロス率を推論できなければ対策は進まない。データサイエンス力も笑顔力も共に学ぼう」と定め、その実践に取り組んでいることです。総務省統計局の「社会人のためのデータサイエンス演習」受講を推進するとともに、10月には「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備(立哨・巡回・接遇)」に関するウェビナーを開催しました。11月には、警察庁サイバー警察局サイバー企画課のご協力をいただき、緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」を開催しました。12月には、イオン株式会社データイノベーションセンターより講師をお迎えし、「大手リテラーのデータアナリティクス組織紹介」セミナーを開催しました。

さらに1月9日には、木村一輝弁護士を講師にお迎えし、『「AI事業者ガイドライン」準拠のセキュリティ対策&「AI利活用ハンドブック～生成AI編～』をテーマとしたハイブリッドセミナーを予定

しております。3月にはセキュリティショー2026に出展するとともに、3月3日に特別セミナー「省人化店舗・セルフレジへの進化～セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書 初公開～」を開催することが決定しています。また、北海道大学においては、EAS機器と医療機器との干渉試験を4機種で実施しました。さらには推奨顔認証システム検定や推薦製品検定も会員内外の皆様からご利用いただき、信頼性の高いシステムの普及促進に寄与しております。

第3の点として、誰もが安全・安心を等しく享受できる「防犯民主主義」の実現に向けて、覚悟を持って臨む姿勢です。経済産業省指定のセキュリティ機器の工業会として、また内閣府個人情報保護委員会の認定個人情報保護団体として、法令遵守を第一義と考えつつも、法改正時の民主的プロセスに積極的に参画することこそが、より上位の使命であると考えています。私たちはこれを「JEAS 永劫の使命」と呼んでおります。その一例として、適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画を昨年12月に公表しました。これは、防犯システムにかかわる団体としては初の取り組みです。

本年のビッグイベントとして、第22回アジア太平洋小売業者大会(東京大会)が、10月7日～10日に東京国際フォーラムで開催されます。展示会場での協力に加え、10月9日には、当工業会主催によるロス・プリベンション関連のセッションを500人規模で開催し、参加18か国の方々とロス対策や防犯に関する情報交換を行う予定です。これだけの規模のロス・プリベンション会議は、世界でも前例のない試みです。この世界会議を通じて、新たな防犯のネットワークと連帶を構築したいと願っております。会議の詳細は、日本小売業協会の専用サイトをご参照ください。

6月5日は第25期を迎える通常総会と記念イベント、7月24日には第9回JEAS検定講習会の開催を予定しております。

JEASは、防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器・防犯カメラおよびロス・プリベンション推進のための工業会として、防災領域を含む「安全・安心な店舗施設づくり」の推進を通じ、流通業界の健全な経営と、青少年の非行防止や高齢者等の再犯防止に資するという産業的・社会的役割を果たしてまいります。今後とも、所轄官庁をはじめ関連諸団体のご支援を賜りつつ、店舗防犯システムや警備関係の皆様と連帶して活動を進めてまいります。引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。